

## 不信仰への警告③偽善

ルカの福音書11章37-44節  
2012,8,5 HKJCF

## I 概観

序)①心の固さ ②心の闇 ③心の偽り

- |              |       |
|--------------|-------|
| 1、パリサイ人とイエス様 | 37-38 |
| 2、律法の本質      | 39-40 |
| 3、3つの偽善      | 42-44 |
| 4、律法と神様のみ心   | 41-42 |

適用)私たちが本心(今の自分)を偽らず、  
み心(あるべき自分)と統合されて生きる  
ため、どんなことが必要でしょう？

## II パリサイ人とイエス様

- 1、パリサイ人とは？  
①捕囚 ② マカベヤ時代 ③反サドカイ派
- 2、パリサイ人による審問  
①イエス調査団 ②ユダでは執拗(53)
- 3、良心的パリサイ派・律法学者  
⇒ニコデモ、ガマリエル、パウロ

## III 律法の本質

- 1、律法は解釈が重要←み子の権威
- 2、律法ときよめの儀式←律法の習慣化
- 3、律法の3分類  
①祭儀的律法:主で成就:へブル書  
②道徳的律法:新生・聖霊・神の国:十戒  
③社会的律法:父の心・人権・福祉:法律
- 4、律法の現代的意味  
⇒私たちがキリストへ、私たちが現実へ

## IV 3つの偽善

- 1、公儀と神への愛<義務感・人の評価  
人を抑圧し、神様を偶像化しながら、
- 2、信仰<プライド・特別扱い(名誉・面子)  
動機が高ぶり自己中心、
- 3、自己との直面<偽善・ワナ(目立ぬ墓)  
偽善的空気が偽善を産み育てる悪循環  
偽善:「役者が(仮面を被り)演技する」  
⇒①天父の心が本質 ②現象<本質③真に  
敬虔な生活へ(内⇒外、本心→み心)

## V 律法と神様のみ心

- 1、自らの汚れの自覚      ローマ7:21
- 2、汚れは内から          マルコ7:1-23
- 3、内と外の統合          ルカ 11:41-42  
⇒きよめの習慣や儀式、10分の1献金より  
心の内側の信仰が大切、しかし内側の変  
化はやがて外に現れ、内外が統合される  
⇒これこそがみ言と聖霊による信仰  
①パリサイ人と取税人(外<内) 18:9-14  
②貧しいやもめの献身(統合) 21:1-4